

(別紙4(2))

事業所名:グループホーム新栄

目標達成計画

作成日: 令和 5年 3月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2, 3,	コロナ禍だったので地域密着型として地域貢献に与していない。	地域の一員として何かしらの行事に参加する。	運営推進会議を活かして参加できるものを探して実行する。また、事業所として自主的に参加できるものを考えて行う。	6ヶ月
2	7	適切な声掛けやケアについて、新しい情報が足りていない。自己の振り返りが出来ない。	「不適切ケア」を学び、周知して職員同士で注意できる環境を作る。	イーラーニングなどで、虐待防止の観点から不適切ケアを知り、職員自身の振り返りと、事業所全体として不適切ケアの認識をする。	6ヶ月
3	14	同業者とのコミュニケーションが取れていない。	近隣のGHと、情報のやり取りができる。	管理者が問合せ、情報交換を行ったのちに、介護職員などの交換研修などを行う。	6ヶ月
4	48	利用者について、重度化から役割の分担が難しくなることで振り分けていない。	利用者ひとりにつき、何か一つでも役割をお願いする。	アセスメント内容を見直したり、ADLの評価を行い、役割をお願いしてサポートする。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。